

「次世代電動車両を牽引する 先進電池技術」

低炭素社会実現に向けて、高性能電池を用いた環境先進車両の開発とその
実用化・普及促進が、これまで以上に求められています。

本シンポジウムでは、二次電池・燃料電池技術のここ数年の大きな進展を
背景として進んでいる、電気自動車・燃料電池自動車など環境先進車両の開
発状況ならびに今後の展望について、この分野の第一線でご活躍中の方々に
ご講演頂きます。

日時 : 平成 26 年 12 月 11 日 (木) 13:30~16:20

会場 : 豊橋技術科学大学 A-101 講義室

(地図 : <http://www.tut.ac.jp/about/campusmap.html>)

参加費無料 どなたでもご参加頂けます

主催 : 豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

後援 : 豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会、東三河産業創出協議会

協賛 : 電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、
IEEE 名古屋支部、自動車技術会

申込先 : 豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
(研究支援課研究センター係)

TEL : 0532-44-6574 FAX : 0532-44-6568

e-mail : rcfvc@office.tut.ac.jp



★裏面の参加申込書で事前にお申し込みください

プログラム

- 13:30～13:35 開会挨拶**
豊橋技術科学大学
未来ビークルシティリサーチセンター長 角田範義
- 13:35～14:25 【講演 1】**
「燃料電池自動車の現状と今後
—JARIでの水素・燃料電池自動車の安全性に関する活動紹介—」
(財)日本自動車研究所 FC・EV 研究部 次長 三石洋之 氏
- 14:25～14:35 休憩**
- 14:35～15:25 【講演 2】**
「NEDOにおける次世代蓄電技術開発」
(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
スマートコミュニティ部 主任研究員(兼)蓄電技術開発室長
細井 敬 氏
- 15:25～16:15 【講演 3】**
「超小型モビリティ「FOMM コンセプト One」の設計思想と
バッテリー活用技術」
(株)FOMM 代表取締役社長 鶴巻日出夫 氏
- 16:15～16:20 閉会挨拶**
豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 櫻井庸司

世話人・問合せ先 : 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 櫻井庸司

E-mail: sakurai@ee.tut.ac.jp , Tel./FAX: 0532-44-6722

参加申込書

以下の内容を F A X または e-mail でご連絡ください。

【申込先】 未来ビークルシティリサーチセンター (研究支援課研究センター係)

FAX : 0 5 3 2 - 4 4 - 6 5 6 8 e-mail : rcfvc@office.tut.ac.jp

お名前			
所属・役職			
TEL		FAX	
e-mail			

* 参加申込〆切 : 平成 26 年 12 月 4 日 (木) ただし, 事前申込みがなくてもご参加いただけます。